

# 『コロナ危機の経済学』 (イントロダクション)

2020年7月

森川正之 (RIETI / 一橋大学)



# 『コロナ危機の経済学』構成

- 序章 コロナ危機と日本経済(森川正之)
- 第1章 コロナ危機の経済政策: 経済社会を止めないために「検査・追跡・待機」の増強を(小林慶一郎・奴田原健悟)
- 第2章 コロナ危機の現状、政策対応及び今後の課題: 「大いなる制度変化」に向けて(鶴光太郎)
- 第3章 パンデミックにも対応できるセーフティネットの構築(八田達夫)
- 第4章 コロナ経済対策について: 財政の視点から(佐藤主光)
- 第5章 迅速な現金給付と「デジタル政府」の重要性: COVID-19の出口戦略も視野に(小黒一正)
- 第6章 コロナ後のグローバル化のゆくえ(戸堂康之)
- 第7章 新型コロナウイルスと食料安全保障(山下一仁)
- 第8章 社会的距離政策・外部性・デジタル技術(楡井 誠)
- 第9章 コロナ危機で露呈した医療の弱点とその克服(土居丈朗)
- 第10章 ポスト・コロナのフューチャー・デザイン(中川善典・西條辰義)

## 構成(続き)

- 第11章 感染症のSIRモデルと新型コロナウイルスへの基本戦略(関沢洋一)
- 第12章 創薬による新型コロナウイルス危機の克服(長岡貞男)
- 第13章 POSで見るコロナ禍の消費動向(小西葉子)
- 第14章 コロナ危機後の行動制限政策と企業業績・倒産:マイクロデータの活用による実態把握(宮川大介)
- 第15章 新型コロナウイルス危機による労働市場への影響と格差の拡大(菊池信之介・北尾早霧・御子柴みなも)
- 第16章 新型コロナウイルスと労働時間の二極化:エッセンシャル・ワーカーの過重労働と日本の働き方改革(黒田祥子)
- 第17章 森川正之 コロナ危機と在宅勤務の生産性(森川正之)
- 第18章 文明としての都市とコロナ危機(藤田昌久・浜口伸明)
- 第19章 感染症対策と都市政策(近藤恵介)
- 第20章 パンデミックの長期的課題:子供への影響を中心に(中田大悟)
- 終章 コロナ後の経済・社会へのビジョン:ポストコロナ八策(小林慶一郎・佐藤主光)

# 本日の主な論点

- 新型コロナウイルス感染症の拡大抑制と経済活動
  - 外出自粛・営業自粛 vs. 検査・追跡・待機
  - 感染抑止と景気のトレードオフ？
  - 中長期的な政策課題：産業構造、社会保障制度
- コロナ危機対策と財政規律
  - コロナ対策費の特別会計化, コロナ対策債, 償還財源
- 格差拡大とセーフティネット
  - 負の所得税, マイナンバー
  - ベーシックインカム

# 参考資料

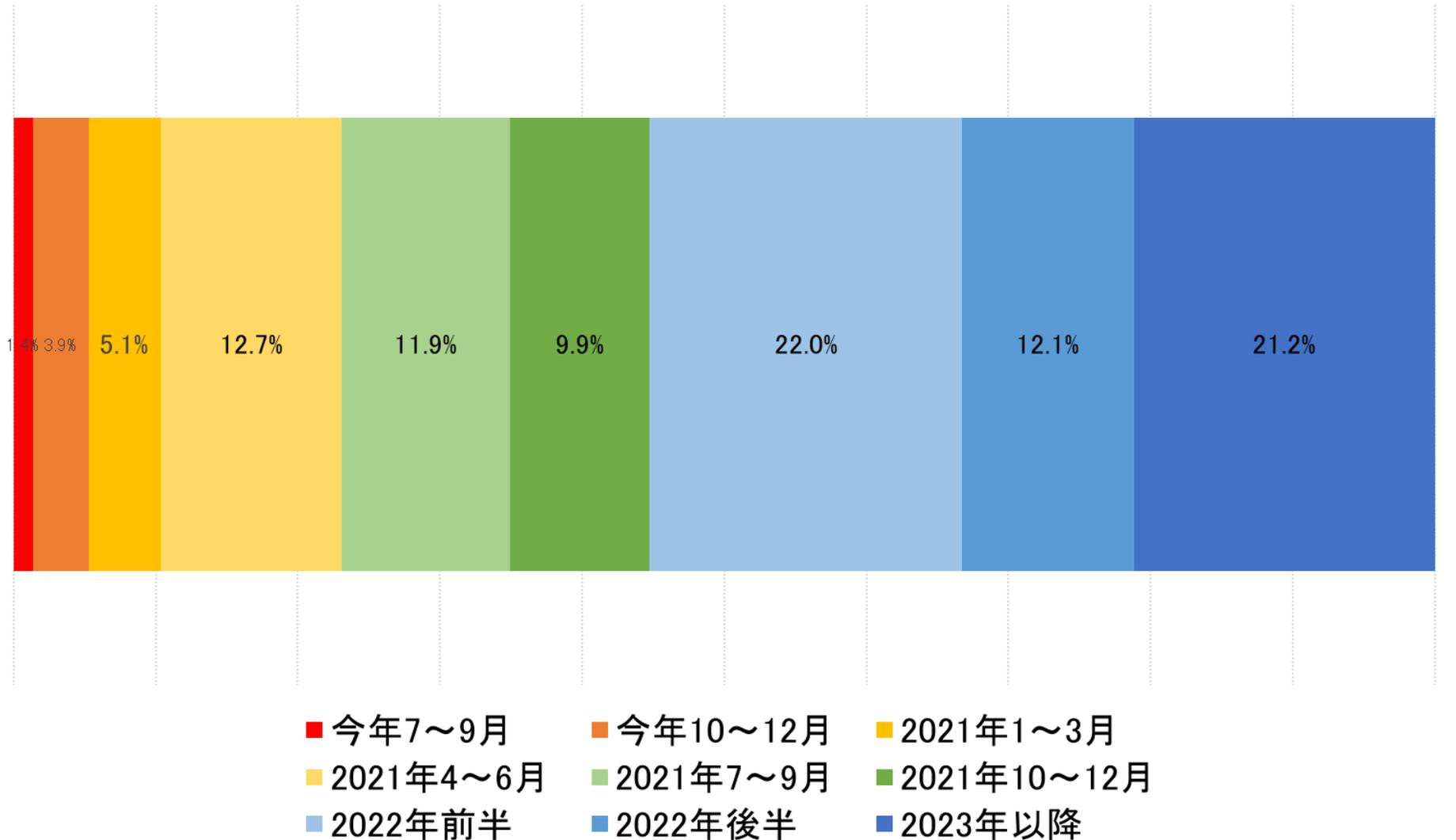
(最近のサーベイから)

2020年6月下旬実施, N=5,105人

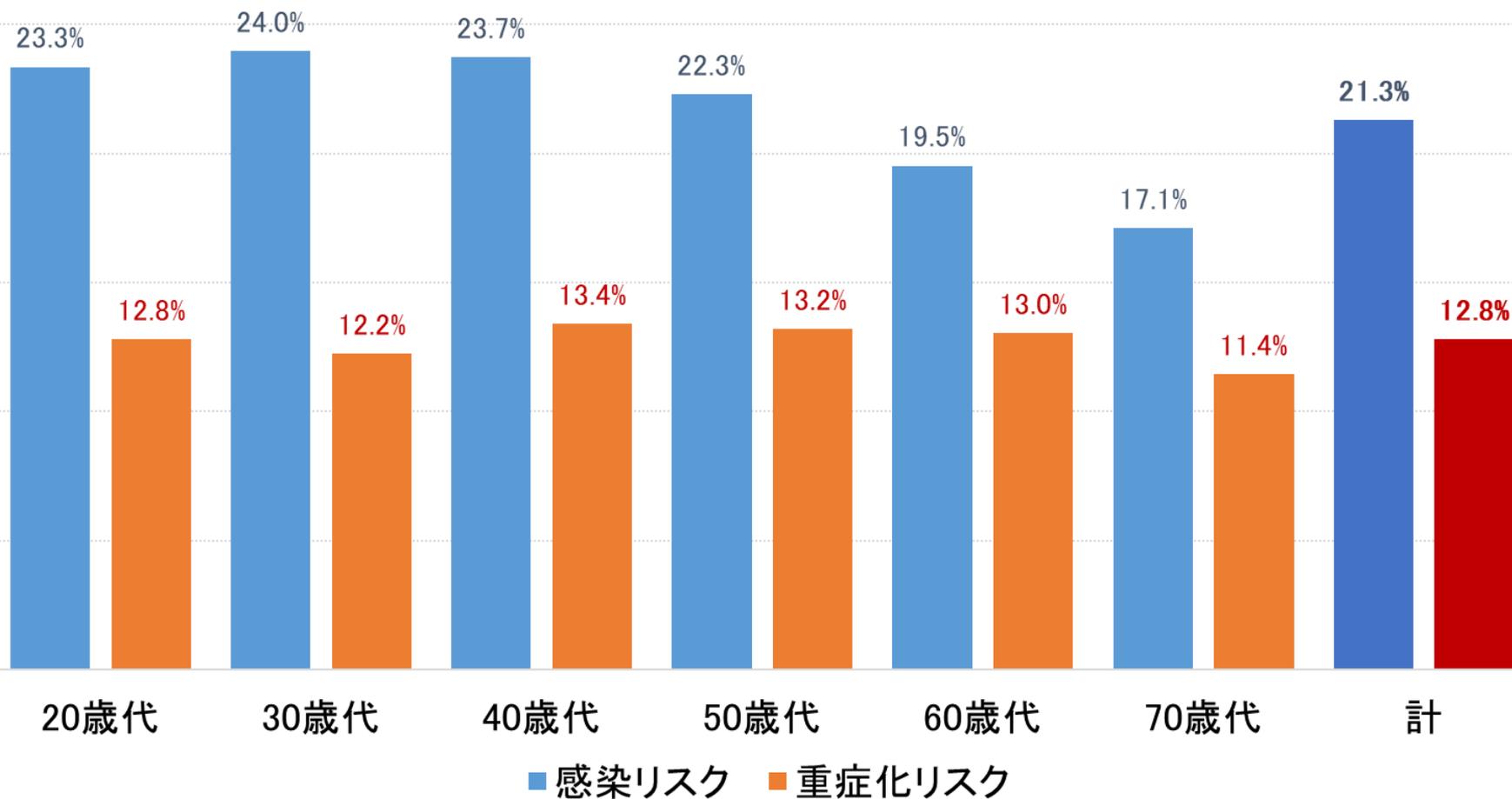
※詳しくは下記論文参照

森川正之 (2020). 「新型コロナの影響と政策対応への認識: 個人サーベイに基づく観察」, RIETI Policy Discussion Paper, 20-P-020.

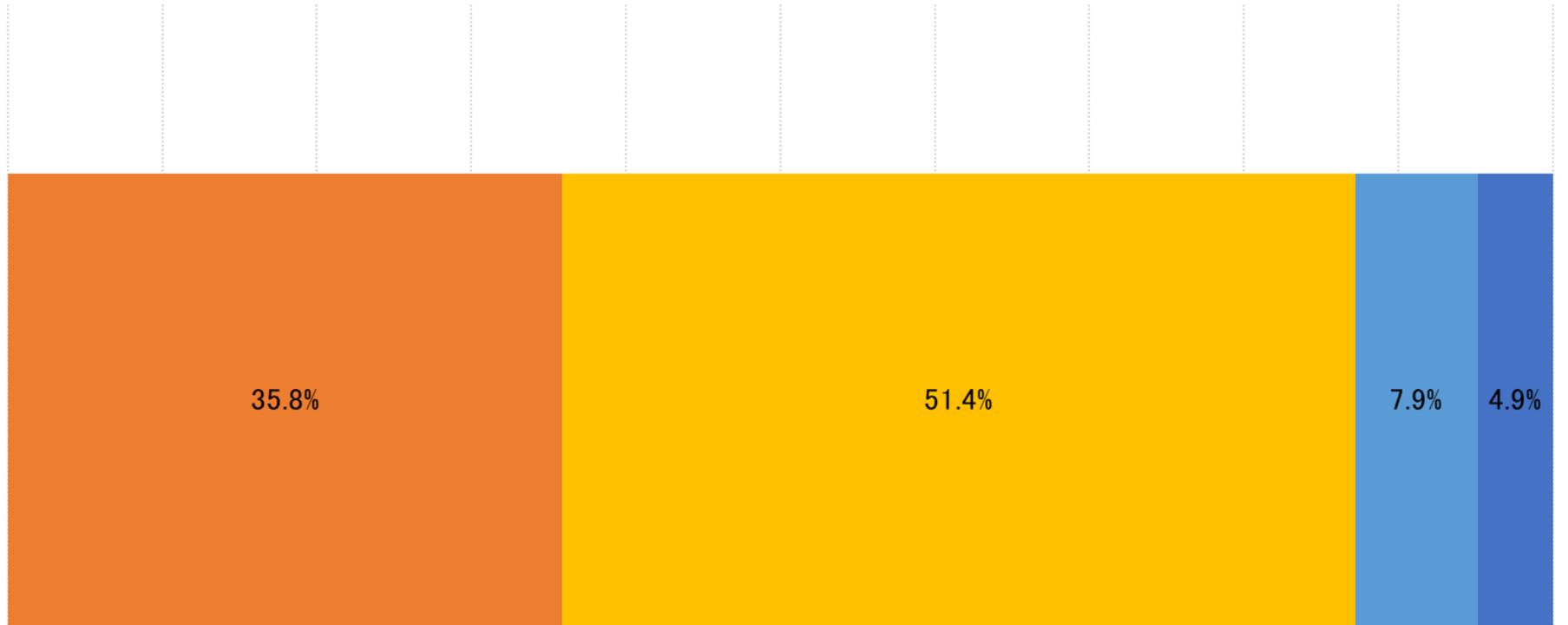
## 新型コロナウイルス感染症の終息時期の予想



## 今後1年以内に新型コロナに感染・重症化する主観的確率

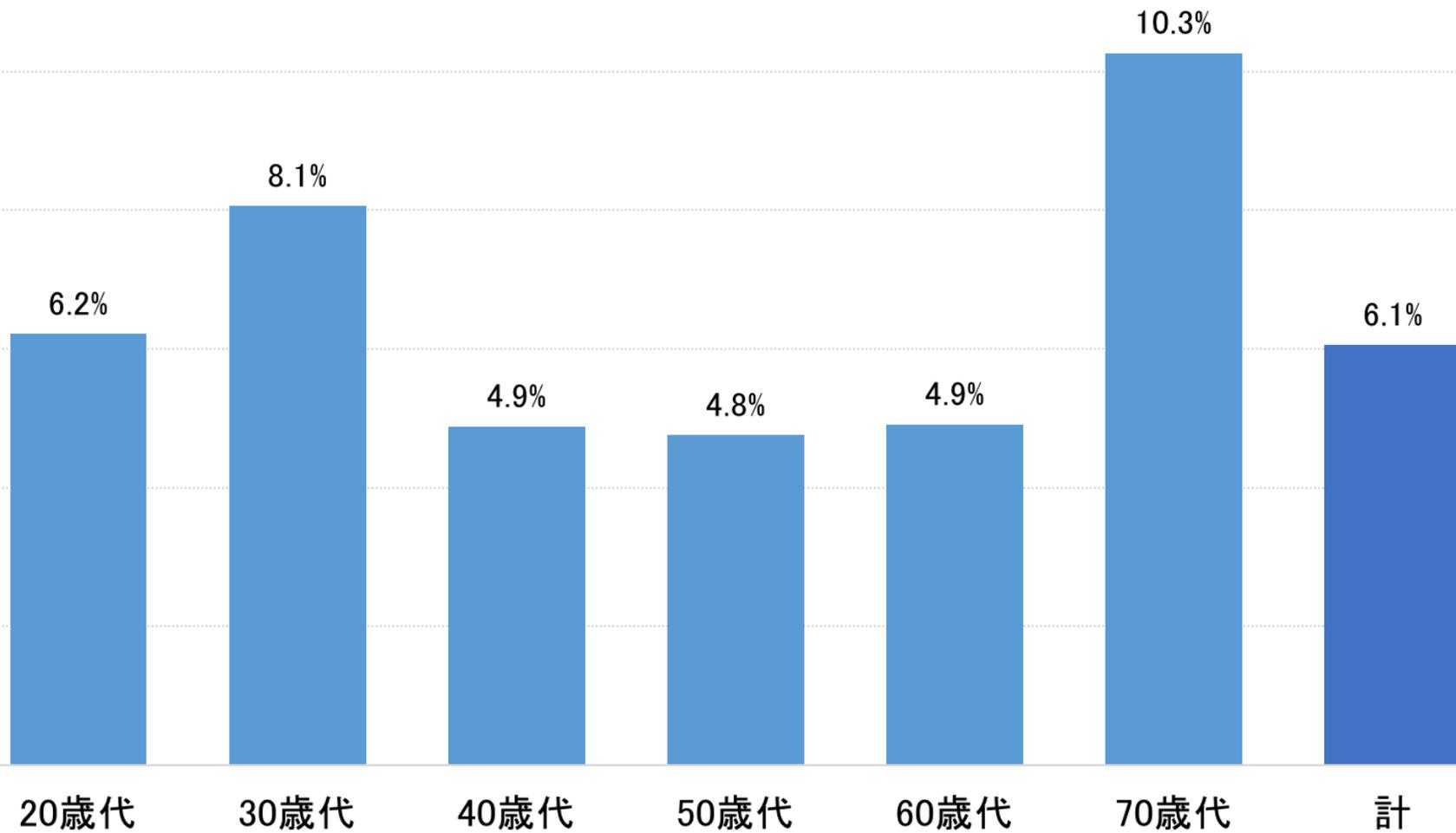


## 緊急事態宣言・外出自粛要請等の評価

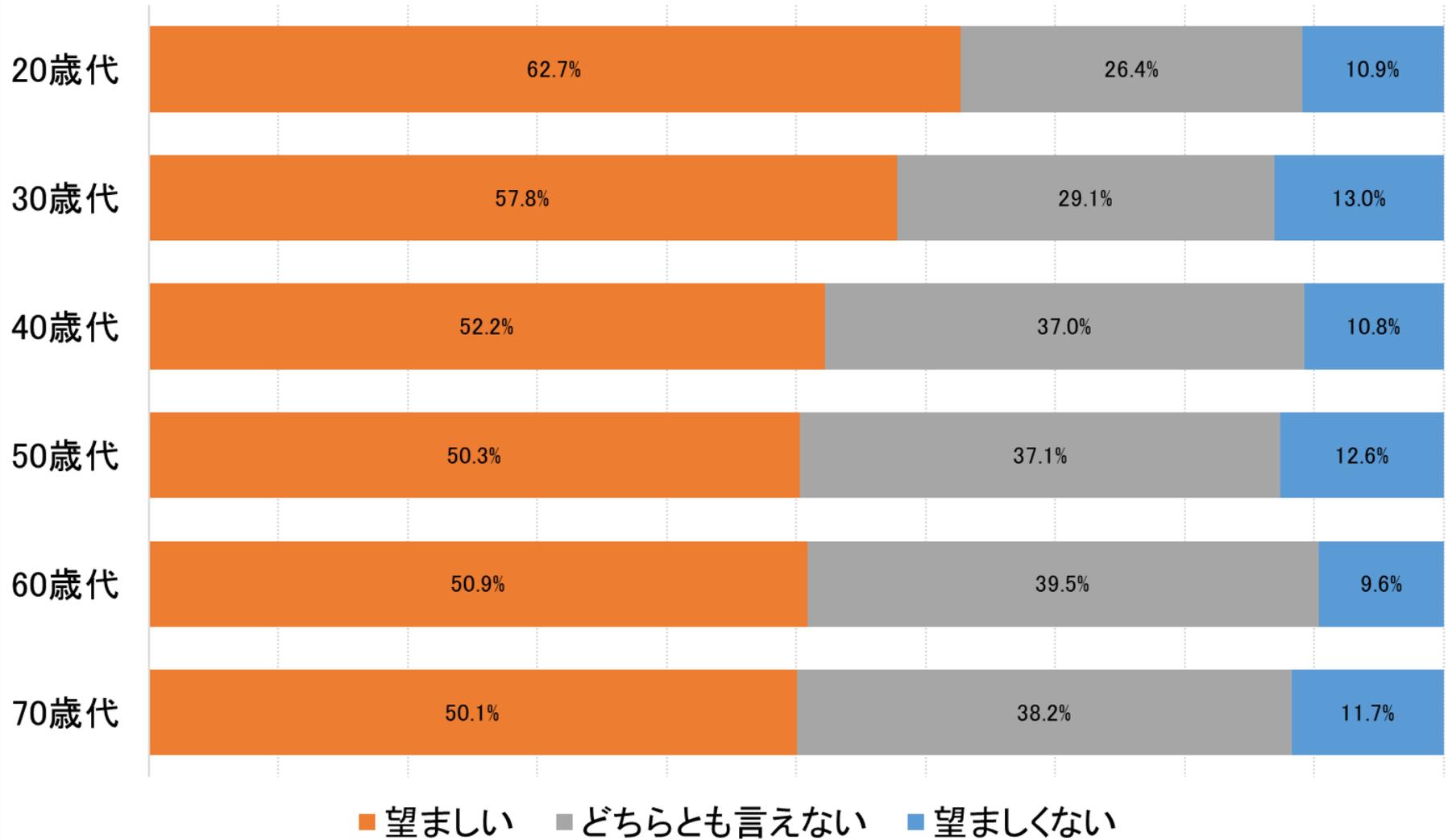


- もっと強い措置を採るべきだった
- 適当だった
- 措置が強すぎた
- やるべきではなかった

## 政府が全世界帯に配布した「布マスク」を使用した人の割合



## 特別定額給付金の評価



## 特別定額給付金の使途(世帯年収別)

